
③モデル校実証

福山市立城東中学校

ご登壇ゲスト



福本 理恵先生

東京大学
先端科学技術研究センター
特任助教
異才発掘プロジェクトROCKET
プロジェクトリーダー



佐久 裕昭氏

株式会社学研プラス
次世代教育創造事業部
STEAM事業室
Tech Programチームリーダー
中央大学政策文化
総合研究所客員研究員



永田 弓子先生

福山市立城東中学校
教諭 (教務主任)



羽原 靖明先生

福山市立城東中学校
校長

モデル校実証 福山市立城東中学校

きらりルーム／チャレンジルームでは、児童生徒一人ひとりに応じた多様な学びの場が実現されている



EdTech教材を使って、児童生徒の興味・進度・意欲に応じた学びをさらに深く、先生の負担を増やさないように実現したうえで、他校でも再現できるようにフォーマット化したい



NTT
docomo



Gakken

実証開始時点

身体に学びの、自分らしいクセをつける



タブレットPC1人1台(SIM付きでいつでもどこでも学習可能)



問題データベース

タブレットドリル

5教科対応のタブレット学習教材



Qubena

AI型タブレット数学教材

Music Blocks

プログラミングで音楽を作る
STEAM教材



実証中間地点

心に学びの、自分らしい火をつける



ROCKET ワークショップ(東大先端研が実施する異才発掘プロジェクト)

タブレットPC1人1台×EdTech教材3種類で1か月間



タブレットドリル
500問

Qubena
1500問

Music Blocks
曲づくりに熱中

一方でこのような
児童生徒も

- 初日に使ってくれただけ
- 数日に1度少し使ってくれるだけ
- タブレットPCを渡す機会が、そもそもまだない

課題

- ① Edtech教材をいかにして使ってもらうか
- ② 児童生徒に応じた教材、学習方法をいかに見つけるか
- ③ 中～長期的な学習計画をどう立てるか